

探究学習博覧会レポート

産官学が連携して取り組んだ「探究的な学習」に焦点を当て、学校と協力企業等がブース形式で発表し、立場や職種を越えて意見交流する場として開催しました。学校現場にとっては実践のヒントや連携の進め方を学ぶ機会に、企業・大学等にとっては学校のニーズや協働のイメージを具体化する機会となりました。

1 開催概要

日時 令和8年2月26日(木) 15:00~17:00
会場 大阪市総合教育センター シナジースクエア
大阪教育大学みらい教育共創拠点 産官学連携拠点フロア
参加 企業・大学等の方 76人
教職員 114人(対面参加81人、オンライン参加33人)

2 発表内容

- 阪南中学校×(株)ロッテ・北粉浜小学校×(株)ラウンドワンジャパン
「みおつくし探究チャレンジ」の活動を経て
- 中大江小学校×大塚製薬(株)
よりよく働くための場の工夫・取組とは？から考える
- 大空小学校×アルバモス大阪高石
ホーム開幕戦を盛り上げろ!大空小のバモ活ストーリー
- 西天満小学校×(株)毎日放送
伝えるって何だろう?
- 新北島中学校×(株)コアー建築工房
住まいをテーマにした未来の間取りを考える
- 中泉尾小学校×(株)steAm×リネットジャングループ(株)
廃材から学ぶSDGs
- 天王寺小学校×天王寺動物園
動物たちに何ができる?地域の動物園を舞台にした探究
- 大淀小学校×落語家桂雪鹿
落語家とともに表現を学ぶ、大淀寄席会ができるまで

3 ポイント

- 多彩なテーマで、学校の実情に合わせて応用しやすい
スポーツ、メディア、住まい、SDGs、動物園、伝統芸能など様々な活用例を紹介。
- 学校側の工夫と課題が具体的に見える
問いの立て方、探究の進め方など、明日からの授業改善につながる示唆が得られた。
- 交流会でニーズのすり合わせができる
学校が企業等に求める支援、企業が不安に感じる点を直接共有でき、次の協働につながる対話が生まれた。

4 参加者の声

- 企業・大学等の方
 - ・まずは始めてみるのが大切だと気づいた。
 - ・学校が企業に求めていることが分かり、連携のイメージができた。
 - ・先生方の話を聞いて、今後の出前授業に向けた学びになった。
- 教職員
 - ・他校の実践が参考に。本校でもできることからやってみよう。
 - ・企業の方と“語らう”時間が新鮮で、授業づくりの視野が広がった。
 - ・発表と交流が温かい雰囲気、学びの多い時間だった。



取組発表の様子



企業からの発表の様子



交流会の様子